

1] 1枚の硬貨を3回投げる試行において、例えば、1回目に表、2回目と3回目に裏が出るという根元事象を記号 HTT で表すことにする。

a) 標本空間  $U$  をこの記号を用いて表せ。根元事象は全部でいくつあるか。

b) この試行において、事象は全部でいくつあるか。

c) 「少なくとも2回裏が出る」という事象  $A$  を表す集合を上記の記号を用いて表せ。

d) この試行において、すべての根元事象の確率は等しいとすると、少なくとも2回裏が出る確率を求めよ。

2016年5月10日

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ	
						氏名	

□2 大小2個のさいころをなげるとき、例えば、大きい方は3の目が出て、小さい方は2の目が出ることを  $(3, 2)$  で表すことにする。

a) 標本空間  $U$  は何個の要素をもつか。

b) 事象は全部でいくつあるか。

c) 「目の積が奇数である」という事象を  $A$  とする。  $A$  を要素をすべて挙げることによって表せ。

d)  $A$  の余事象  $\bar{A}$  を言葉で表せ。また、  $P(\bar{A})$  を求めよ。